

夏山に向けて 北八ヶ岳 1 中山峠～麦草峠

実施日 2012年6月17日(日)～18日(月)
天 候 晴れ
リーダー 涌井 良明
参加者 佐藤金治、涌井良明、山崎富美江、鈴木恵美子、石附智江、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代 計10名
費 用 JR10,720円(新宿起算)バス1,100円
タクシー1,870円 宿泊費7,500円
合計21,190円
タイム 17日 茅野(10:25バス)渋の湯(11:20～11:38)八方台分岐(11:40～12:12昼食)沢休(13:55～14:00)黒百合ヒュッテ(15:01) 泊
18日 黒百合ヒュッテ(6:20)中山分岐(6:57)中山(7:08～7:10)中山分岐(7:20～7:30)ニュウ(8:30～8:52)白駒池畔(10:02～10:20軽食)高見石小屋(11:06高見石往復11:35)丸山(11:55～12:25昼食)麦草峠(13:10～13:30タクシー)アキラント茅野(14:15～15:00)茅野(15:15)

17日 ひんやりした風が心地よい渋の湯からは通い慣れた道だが、後半の沢筋に入ってからやや難渋し道となった。雨と雪解けで増した水量で登山道全体が沢状態になっており、渡渉を繰り返す沢登りとなった。おまけに足場探しに一番苦勞する場所で団体ツアーとの行き違いになり、脇の藪に逃げも道に戻る際にやや緊張の渡渉も強いられた。そんな道も終わると見慣れた黒百合ヒュッテに着き、元気者は摺鉢池付近まで散歩に出掛けた。



この日は空いている小屋でゆったり、のびのびと寝ることもできた。
18日 薄日の漏れる天候が有難い。中山峠から高見石方面へ。縦走路とニュウの分岐でザックをデポ、中山を往復してから、ニュウを目指す、樹林の道が良い雰囲気、北八ヶ岳の穏やかさを味わえる。右

側の断崖の切れ目から硫黄岳、天狗岳の眺めも素晴らしく、登降も少ない道が快適だ。ニュウの岩峰が見えてくると尾根基部になり、僅かで素晴らしい展望の待つ狭いニュウの頭に立った。



ぐるりの展望が独占だ、眼下の白駒池から縞枯山、蓼科山、その左奥に北アルプスの穂高・槍の屏風、天狗岳、硫黄岳、その左奥に幾筋かの白線を残した富士山、更に奥秩父、佐久の山々、荒船山などの上信越の山、そして浅間山と周辺の山々と飽きることのない展望とそれを許してくれた天候に感謝。



名残は尽きないが、ニュウの基部から白駒池への下り入る。岩と木の根の道をゆっくりと下り、稲子湯へ2箇所に分岐を過ぎ、見事な苔が彩る森をを抜け、白駒湿原に出る、木道を辿り湖面が見えると白駒池畔だ。穏やかな湖面に気分も癒されるようだ。軽食を摂って木道を進み、白駒荘手前から高見石へ登りに入る。やはり岩の多い樹林の登りをじっくりとこなすと、高見石小屋だ。小屋脇から積み重なった岩を登ると高見石である。穏やかな北八ヶ岳の峰々に囲まれた高見石からは中央・北アルプスも遠望できた。



ここから締め
の山頂の丸山に向かう。渋の湯の道を分けて緩めの登りの先に展望は無いが可愛い丸山に着いた、丁度昼時で、のんびりと昼食時間とした。締めの？集合写真後、下山の麦草峠の道を下る。相変わらずの北八ヶ岳の岩と木の根の道をジグザクに下り、前方が明るく開けると気持ち良い草原の麦草峠に下り着き、歩きは打ち止めとなった。

丸山から呼んだタクシーでアキラント茅野へ、汗を流し、喉も潤して帰京した。

梅雨時ピンポイントの好天に当たり、雰囲気ある北八ヶ岳の魅力に触れることのできた山行になった。行先変更に同意いただき参加して頂いたメンバーの皆さんに感謝です。北八ヶ岳にまた行って下さいね。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・伊藤 久雄)